

声・担当者に聞く

事例報告会発表を
ふりかえって

宇治徳洲会病院図書室
大久保 緑

研修会に参加して

耳原総合病院図書室
成田 元樹

私はいつもは、参加して聞く立場でしたが、第70回研修会の事例報告会で初めて発表させていただく機会を持ちました。そこでは、各病院図書室へ徳洲会から文献依頼が多いということで、徳洲会内の文献貸借業務と併せて、関西地区徳洲会病院医学雑誌目録作成・医学雑誌分担保存について話をしました。

今回はその後の経過について報告します。目録完成後、配布を希望された病院図書室26病院に送りました。想像していたより希望が多く驚きました。関西地区だけの目録なので、どれくらい役立つものかと考えていたからです。しかし、目録送付後、以前より少し病院図書室の依頼が増え、徳洲会以外にも役にたっていることがわかりました。また、医学雑誌分担保存は、各病院共にスペースの問題があり、残念ながら現在のところ着手できずにいます。今後、スペースが広くなれば、考えていこうと思っています。以上が現在の状況です。

事例報告会で発表したことにより、他の徳洲会内の文献貸借について知ることができました。また、各徳洲会の文献業務内容について聞き、当院との違いも知りました。この発表は、私にとって、大変よい経験となり、改めて相互貸借業務について考えさせられる機会となりました。

医局兼務で、図書室業務はおろそかになりがちですが、これからも研修会・事例報告会に参加し勉強していきたいと思っています。

近畿病院図書室協議会の設立20周年おめでとうございます。

運営に携わってこられた役員の皆様には、改めて敬意を表したいと思います。

耳原病院図書室は1973年に設けられました。そして1976年に協議会に加盟後、図書委員会設立、図書室のスペースの拡大、パソコンによる雑誌特集テーマの入力・文献検索・相互貸借業務等々、3名の前任者の努力と、そしてなによりも協議会の皆様の御指導により、大きく発展することができました。

さて、私個人が協議会とお付き合いをはじめる機会を得たのはこの7月でした。病院に就職して2年、この5月に図書室担当者として医局事務課に配属された私にとってこの業務は全くの未知の世界で、うまくやっつけられるかどうか不安で一杯でした。ちょうどその頃、第71回の研修会に参加させていただいたのです。お忙しい中をあのような機会を与えて下さったうえ、とても丁寧に指導していただき、ほんとうに頭が下がる思いでした。そして、なんとかやっつけられるのではという気持ちになりました。

あれから2ヶ月、「目録」を片手に文献依頼に追われつつも、暇を見つけては「病院図書室」のバックナンバーを読み、少しでも機能的な、そして魅力的な図書室を築いていきたいと考えつづけております。

未だわからないことが多く、皆様にはご迷惑を掛けてばかりですが、これからは、少しでも協議会のお役に立てるよう精一杯奮闘してまいりたいと思っています。